



「医療専攻」便り

新潟県立三条東高等学校 Vol. 3 (令和5年8月25日)

●医療系大学見学(新潟医療福祉大学オープンキャンパス参加) 8月5日(土)

9:40 新潟医療福祉大学 到着

10:20-11:00 学科説明会①

11:15-11:55 学科説明会②(または入試説明会)

12:10-12:50 学科説明会③

12:50-14:00 昼休憩(学食体験)

14:20-15:00 学科説明会④

15:10 新潟医療福祉大学 出発



生徒の感想

◇聞いた事のない職種があり、普段体験することの出来ないようなことばかりでとても面白かった。キャンパス内も綺麗で広く、高校との違いを見つけるいい機会となったし、学生さんのお話を聞いたことで進路について深く考えるいい機会となった。言語聴覚士という職業は聞いたことがなかったが、話を聞いていくにつれ興味が湧いた。しかし、全体を通して共通している事は、全員患者さんとのコミュニケーションを大切にしていることだと思う。患者さんの不安を和らげるためにもコミュニケーションを大切にしていって、私たちにも優しく丁寧に教えてくださった。

◇新潟医療福祉大学は私の志望校であるので、今回は大学の雰囲気や生徒たちの様子に注目して活動しました。私は将来臨床検査技師になりたいと思っているので、臨床技術学科のプログラムに参加しました。プログラムでは、授業で行う顕微鏡を使った細菌や寄生虫などの観察や白衣を着て絵の具を使った検査をしました。実際に体験したことで、もしこの大学に入学した時、どのような授業を行うかイメージが膨らみました。また、臨床検査技師は患者さんに関わる機会は少ないかもしれませんが病気の早期発見などに欠かせない仕事だと思いました。他にも看護学科のプログラムにも参加しました。新潟医療福祉大学では、病院の施設に見立てた設備が整っており実践的な演習を受けられます。看護でも子供や妊婦、大人など相手によって違う対応をしなければならないことが分かりました。今回、色々な学科で体験をしてみて、どの職種も全く違う仕事内容だけど協力できるのは、患者さんを助けたいと言う思いが強いからだと思いました。私も大学で同じ思いを持つ仲間たちと一緒に学び、成長できたらいいと思いました。これを機に、また更に大学選択や将来設計をすることに力を入れて、これから頑張っていきたい。

◇たくさんの学科を見てみて、自分が将来目指そうと思っていた職種をより詳しく知ることができ、また考えていなかった職種について学ぶことができて楽しかった。将来になりたい職種が明確に決まっていなかったのでたくさんの学科を見て、改めてなんの職種に就きたいかを考えるいい機会だった。

●病院見学(三条総合病院) 8月9日(水)10日(木)

前半 院内見学と説明

後半 院長先生のお話 質疑応答



生徒の感想

◇私は高校生のうちに何をしておくべきかという質問に対する回答がとても心に残りました。院長先生は、人相手の仕事なので患者さんの思いに共感する力を持つこと、見た目に見えない隠れた事情を知るために、すぐ判断しない、決めつけない、気持ちで物事をやらない、やらなければいけないことはすぐに行く、という回答でした。今からできる当たり前のようで意外とやらずに逃げてしまうようなことが大事であることを改めて考えさせられました。また聞く力が必要と知りました。また他の医療従事者の方からもバイアスをかけずその人の言葉を受け入れること、興味を持つ、聞く姿勢を大切にすること、習慣づけること、そのためには目標を持つことが大切だと学びました。今回の病院見学では実際の医療現場に入ることで、滅多に経験できないことができ、とても大きな学びになりました。実際に現場の人の話を聞くことで改めて自分は病院で人の役に立つ仕事がしたいんだなと実感することができました。また、話を聞く中で人間的にも成長できたんじゃないかなと感じることができました。貴重な経験ができてとても良かったです。

◇自分が疑問に思ったことを直接医師や看護師に聞くことによって、説得力のある回答が得られて自分にとってもとても良い経験になりました。医療現場の声はその場にいる人にしか分からないと思うので、よりリアルな意見が聞けて良かったです。地域格差の質問では、自分たちが住んでいる地域の問題やそれを解決するためのヒントも得ることができたので自分たちの探究学習に活かしていきたいと思います。

◇私は病院見学を通して、病院内の団結力の高さを感じました。専門分野は違うけれど、目的を一つとし協力しあっている姿は、今の医療社会で最も大切なことだと思いました。私たちは高校生のうちにこの大切さを理解し、医療従事者になったときにチームでコミュニケーションを取って行かなければならないと考えました。